

# 図書館・文化ホール建設に向けた検討会中間報告

令和元年10月

図書館・文化ホール建設に向けた検討会

# 目 次

1	本市における図書館・文化ホールの現状	2
(1)	観光会館	2
(2)	観光会館別館	3
(3)	生涯学習センター中央会館	4
(4)	伊東図書館	5
2	図書館・文化ホール建設に向けた検討会について	6
(1)	検討会発足経過	6
(2)	検討会委員	6
(3)	検討会の開催経過	7
(4)	図書館・文化ホール建設に向けた検討会における意見	8
3	地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における意見	10
(1)	平成30年度地域タウンミーティングにおける意見	10
(2)	未来ビジョン会議における意見	12
4	図書館建設候補地の選定について	13
【参考資料】		
資料-1:	建設候補場所及び概要①	15
資料-2:	建設候補場所及び概要②	16

# 1 本市における図書館・文化ホールの現状

※平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について』から引用

## (1) 観光会館

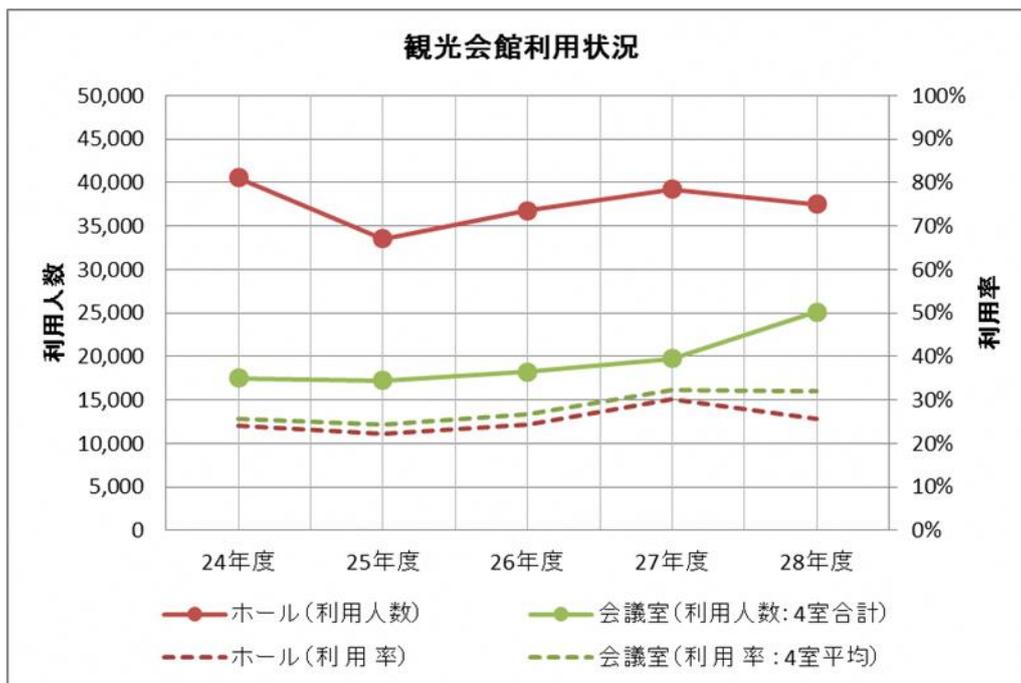
ホールの利用人数は、ほぼ横ばい傾向にある。会議室の利用人数は増加傾向にある。利用回数・利用率は5年前(平成24年度)に比べ増加している。

施設の老朽化が進み、利用率は約2~3割程度となっている。また、ホールの定員は約1,000人であるが、1回500人以上の利用はほとんどない状況である。

### ○施設の概要

延床面積	収容人数	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室
4,568 m <sup>2</sup>	ホール 1階:715人 2階:292人 計:1,007人	150人	120人	30人	24人

### ○利用状況



	年度	24	25	26	27	28
ホール	利用人数	40,553	33,545	36,798	39,243	37,536
	利用回数	243	225	248	312	263
	利用率	24%	22%	24%	30%	26%
会議室(4室)	利用人数(合計)	17,491	17,263	18,253	19,763	25,151
	利用回数(平均)	260	249	273	335	329
	利用率(平均)	26%	24%	27%	32%	32%

※利用人数・回数は、1日を3回の時間帯に分け、使用された延べ人数及び延べ回数で集計。

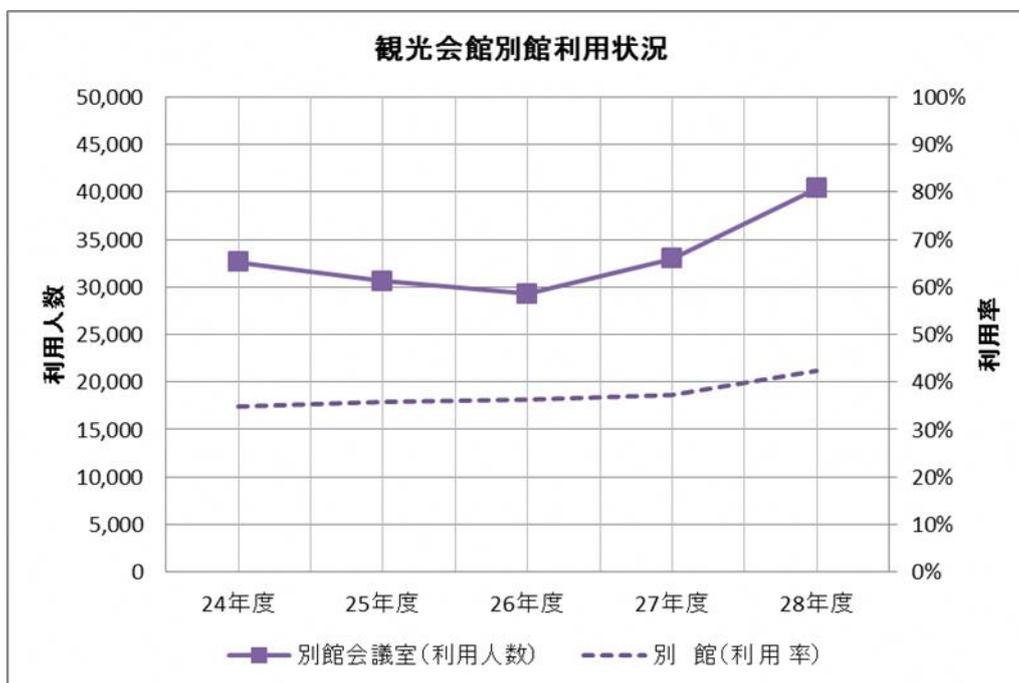
## (2) 観光会館別館

利用人数は、平成 26 年度以降増加傾向にある。  
 利用回数・利用率は、5年前(平成 24 年度)に比べ増加している。  
 利用率は、約4割程度となっている。

### ○施設の概要

延床面積	会議室
765 m <sup>2</sup>	285 人

### ○利用状況



年度	24	25	26	27	28
利用人数	32,592	30,605	29,257	32,970	40,354
利用回数	354	363	371	384	435
利用率	35%	36%	36%	37%	42%

※利用人数・回数は、1日を3回の時間帯に分け、使用された延べ人数及び延べ回数で集計。

### (3) 生涯学習センター中央会館

利用人数は、減少傾向にある。

利用回数・利用率は、5年前(平成 24 年度)とほぼ同じ程度である。

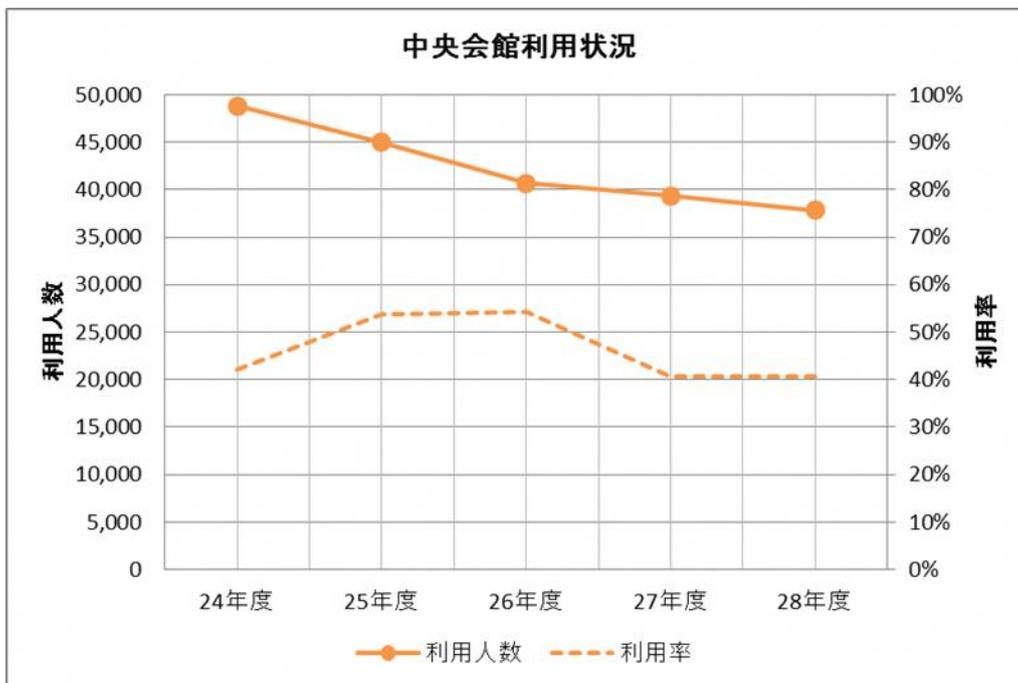
利用率は、約4~5割程度となっている。

他の生涯学習センター、コミュニティセンターとともに、各地域の市民の活発な生涯学習活動に活用されているが、より市民ニーズに対応した生涯学習機会を増やしていく必要がある。

#### ○施設の概要

延床面積	第1会議室	第2会議室	第1研修室	第2研修室	付帯施設
1,520 m <sup>2</sup>	100 人	30 人	30 人	20 人	美術工芸室 第1・2和室 視聴覚室 展示兼トレーニング室

#### ○利用状況



年度	24	25	26	27	28
利用人数	48,782	44,967	40,653	39,365	37,796
利用回数	3,474	4,424	4,489	3,375	3,359
利用率	42%	54%	54%	41%	41%

#### (4) 伊東図書館

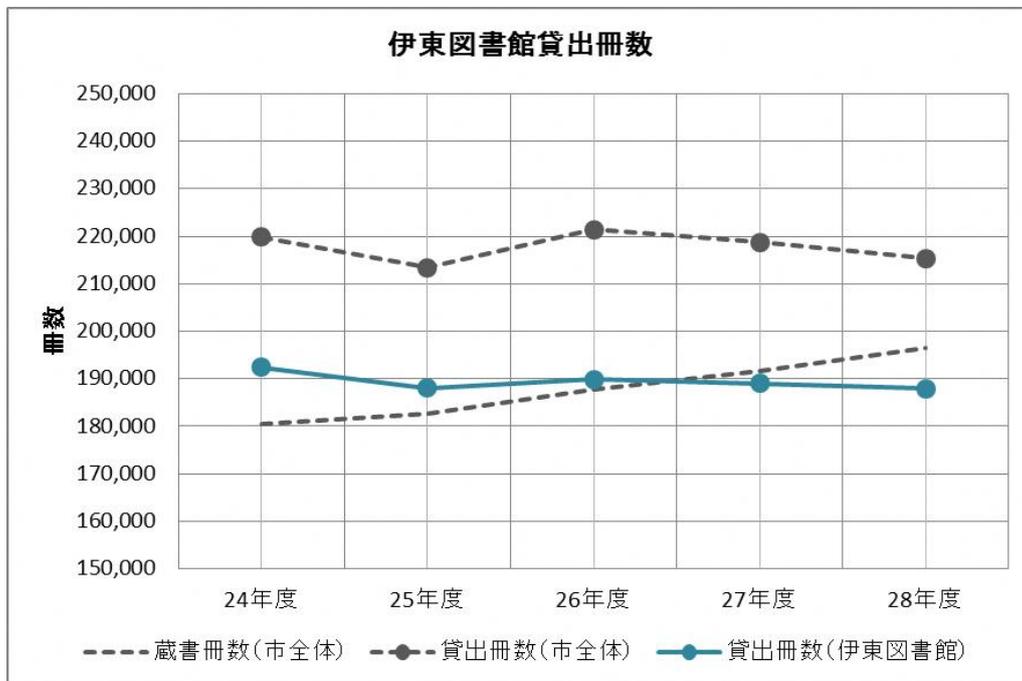
蔵書数は年々増加しているが、貸出冊数は平成 26 年度以降減少傾向にある。

図書館資料の充実や利用環境の整備に努めているが、図書館スペースが十分でなく、蔵書の約60%が閉架書庫に収蔵され、また休日等の中高生の利用スペースの不足、駐車場の不足など、敷地・建物条件により解消されない課題がある。

##### ○施設の概要

延床面積	概要
954 m <sup>2</sup>	開架書庫、閉架書庫 一般閲覧室、親と子のコーナー、ブラウジングホール 特別閲覧室、特別資料室等

##### ○利用状況



	年度	24	25	26	27	28
市全体	蔵書冊数	180,380	182,653	187,674	191,672	196,567
	貸出冊数	219,798	213,346	221,357	218,763	215,347
伊東図書館	貸出冊数	192,430	188,021	189,912	189,014	187,862

## 2 図書館・文化ホール建設に向けた検討会について

### (1) 検討会発足経過

平成29年度に開催した庁内ワーキンググループにおける議論を経て、建設候補地案として挙げられた、「伊東駅前」、「マンダリンホテル跡地」、「アピタ交差点南側」、「伊豆高原駅周辺」の4箇所の建設候補地(案)のほか地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議の意見を総合的に踏まえ、建設候補地及び建設形態について検討する、『図書館・文化ホール建設に向けた検討会』を発足した。

本検討会においては、平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』をたたき台として、市民の皆さまからいただいたご意見を参考にしながら、多様化及び高度化する利用者ニーズ等に対応した本市にふさわしい施設建設に向けた具体的な検討を進めるため、平成30年10月17日に第1回目の会議を開催し、委員に委嘱を行った。

### (2) 検討会委員

検討会委員には、市内の各団体からの推薦による有識者9人に参画していただくほか、公募委員2人にて構成。(詳細は、以下のとおり:)

	氏名	性別	選出区分	備考
1	佐々木 誠	男	文化協会	
2	村田 充康	男	観光協会	
3	佐藤 和也	男	商工会議所	副会長
4	杉村 大樹	男	青年会議所	
5	鈴木 節男	男	建関連組合	
6	塩谷 安朗	男	建築士会	
7	村上 恵宏	男	教育委員	
8	三枝 俊次	男	社会教育委員	会長
9	森 知子	女	女性連盟	
10	杉本 憲也	男	公募委員	
11	野口 夏未	女	公募委員	

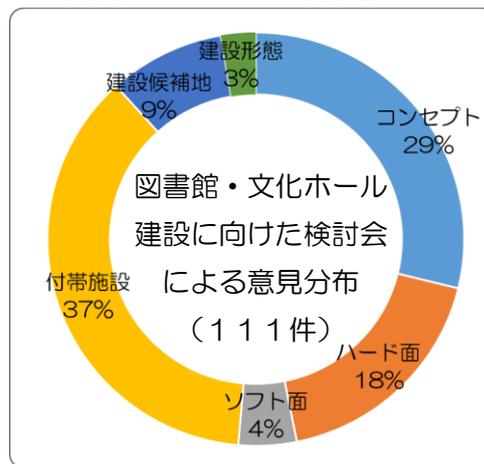
### (3) 検討会の開催経過

平成30年10月17日の開催以来、計7回の検討会を開催し、建設候補地及び建設形態等について議論を行った。

回数	開催日時	場所	議 事
第1回	平成30年10月17日(水)	伊東市役所8階大会議室	○検討会の主旨説明等 ○会長・副会長選出 ○図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性について、地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における意見の紹介
第2回	平成30年11月22日(木)	伊東市役所8階大会議室	○地域タウンミーティング等での意見について紹介 ○今後の進め方について ○建設候補地及び建設形態の検討
第3回	平成31年2月7日(木)	伊東市役所5階中会議室	○地域タウンミーティング等での意見について紹介 ○建設候補地の検討
第4回	平成31年3月19日(火)	伊東市役所5階中会議室	○検討会委員の来年度継続について ○本市図書館の現状と課題について
—	平成31年3月25日(月)	市長に対し、検討会会長から平成30年度の検討結果として以下3点を報告 【報告内容】 ①建設形態:「図書館」と「文化ホール」を別の場所に建設すること。 ②建設候補地:市内小・中学校の適正配置及び県立高校の統廃合の方向性を見つつ、平成31年度も継続して検討する。 ③検討にあたり、「図書館」の建設候補地案から検討を行い、その後、「文化ホール」の建設候補地案について検討を進める。	
第5回	令和元年5月14日(火)	図書館・文化ホール建設に向けた検討会委員及び教育委員による合同視察を実施 【視察施設】 ○大和市文化創造拠点シリウス ○大和市立中央林間図書館	
第6回	令和元年6月11日(火)	伊東市役所1階 展望ギャラリー	○第5回検討会における視察概要について紹介 ○図書館建設候補地検討に係る意見照会(とりまとめ)について紹介 ○図書館の建設候補地の選定に向けた意見について
第7回	令和元年10月1日(火)	伊東市役所2階中会議室	○図書館建設候補地選定に係る協議 ○検討会中間報告書(案)協議

#### (4) 図書館・文化ホール建設に向けた検討会における意見

コンセプト	32 件
ハード面	20 件
ソフト面	5 件
付帯施設	41 件
建設候補地	10 件
建設形態	3 件
<b>合計</b>	<b>111 件</b>



※委員11人により、建設形態及び建設候補地について議論をしました。

※このほか、図書館に関する意見照会を行いました。

#### ①コンセプトに関する意見(32件)

- コンセプトを考えてから建設候補地を決めるべき。
- 読書をしなくても誰もが行ってみたいと思う図書館
- 近代的な図書館よりは、木のぬくもりがある図書館
- 子どもに夢を与える図書館
- 自然・郷土の文化財・温泉(3つのコンセプト)
- 明るくて、ゆっくり読書ができる。
- 市民が気軽に集える、温もりのある図書館
- 子どもから高齢者までが交流できるような空間
- 小さな子連れでも気軽に、ゆったりと過ごせる
- 絵本がいっぱいある。情報を簡単に探せる。子育て充実な図書館。
- 外回りは、緑の公園と一体感、自然と共存の図書館
- 内観は、曲線状の天井高くやさしく包み込む空間を創出できる図書館
- 市民が集まりやすい。(駐車場が広い。)
- 子どもからお年寄まで年齢に関係なく誰にとっても居心地のよい場所であってほしい。
- 生活向上や文化発展に結びつく、情報センターや学習の場にすべき。
- 国際観光温泉文化都市にふさわしい、別荘文化がよみがえる、日本で唯一湯煙立ちのぼる、ぶらり立ち寄り図書館
- “花と海といで湯のまち伊東”がイメージできる図書館
- 伊東というまちの生い立ち、歴史が理解できる図書館
- 全世代が交流できる図書館
- 日本で一番行ってみたいくなる図書館
- 子育てしやすい街づくりとしての図書館
- 誰でも気軽に立ち寄れる図書館
- 子ども達が本を好きになれるような楽しい場所
- 市民が多目的に集える空間
- 静かな環境で落ち着ける

#### ②ハード面に関する意見(20件)

- | 【図書館について】   | 【文化ホールについて】   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の図書館は狭いので勉強しにくい。</li> <li>○文化ホールよりは図書館を先に考えるべき。</li> <li>○図書館の敷地はそれほど広くなくて良い。</li> <li>○場所を決めてから施設の規模を考えても良いのでは。</li> <li>○屋上の芝生やベンチの上で読書ができる図書館が良い。</li> <li>○現状 954 m<sup>2</sup>に対し、2,500 m<sup>2</sup>の想定であれば、相当広くなる。</li> <li>○人口減少を考え、コンパクトな施設を。</li> <li>○30万冊、3,000 m<sup>2</sup>の広さで駐車場も十分に確保してほしい。</li> <li>○全体的にゆとりのある空間を。</li> <li>○居心地のよい場所とするためには、空間の広さと座る場所の確保を。</li> <li>○蔵書数は 36 万冊を希望。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○駐車場の敷地は十分に確保してほしい。</li> <li>○観光会館は椅子が狭く利用しづらい。</li> <li>○800 人規模だと企業の大会誘致が難しいことから、興行的には1,200人以上の収容を目指し、大きな施設が良い。</li> </ul> |

### ③ソフト面に関する意見(5件)

- 図書館の利用者は小学生が中心。中学・高校・大学と進学しても使いやすいと思える機能を。
- 貸出等に係る電子化を。
- 人口に見合った図書館サービスの水準にしてほしい。
- 気軽に相談できるレファレンスサービス等、専門職員の十分な配置を。
- 朝活や夜活用に早朝6時～夜間2時まで、及び、土日祝日の開館を希望します。

### ④付帯施設に係る意見(41件)

- 図書館に学習情報機能を持たせるべき。
- (文化ホールには)子どもが鑑賞できる親子スペースを設けてほしい。
- (文化ホールには)温水プールを併設させることで伊東らしさが出る。
- 歴史や文化などを展示するギャラリーを設けたほうがよい。
- 足湯につかりながら本を読めるような図書館
- 子ども用図書スペース(子どもと親が一緒に読めるスペース)
- 読み聞かせがができる部屋
- 会議室(大・中・小)、視聴覚室(2室以上)、作法室(和室)、多目的室、研修室の設置
- 学習スペース ○読書スペース(机・ソファ) ○親子室(授乳等ができる部屋)
- オーディオルーム(DVD等の鑑賞部屋)
- 文化の生きるまちづくりとして、ミニギャラリーやミニシアター
- ギャラリースペース(展示スペース)
- PCスペース
- カフェなどの飲食スペース
- 子ども用の閲覧席は、落ち着いた空間で子ども達が読書できるよう、一般書架と離すべき。
- まちの活性化、地域振興につながる機能として、多少の話し声が聞こえても許される子供図書館
- 自宅、職場、学校等どこからでもいつでもアクセスできるインターネット環境(フリーWi-Fi)
- 土足厳禁の寝そべりスペース
- 託児コーナー、授乳スペース、
- ジム・健康チェックコーナー、マッサージルーム、温泉プール
- 屋上庭園、屋上農園スペース
- 庭(庭園)を設け、四季折々の花、花木が楽しめる
- 海を連想させるモノ
- ジオ資料館(ジオサイトの紹介)、伊東にゆかりのある祐親、アダムス、別荘などをかまえた文人墨客等について学べる施設
- 観光客が伊東を理解できる伊東学コーナー。

### ⑤建設候補地に係る意見(10件)

- 文化ホールは、伊東駅前に建設してほしい。津波避難タワーにもなり、駅前がにぎやかになる。
- 文化ホールは、駅に近い場所に建設したほうがよい。
- 文化ホールの建設地は、駅から街中を歩いて行ける西小学校の跡地が最適ではないか。  
⇒にぎわいの創出に繋がる。
- 図書館はマンダリンホテル跡地が適地だと思う。
- 図書館はマンダリンホテル跡地、または、小中学校の適正配置により廃校となった学校をリノベーションしたらどうか。
- 統廃合により空いた校舎を図書館として利用できないか。(予算も抑えられる)

### ⑥建設形態に係る意見(3件)

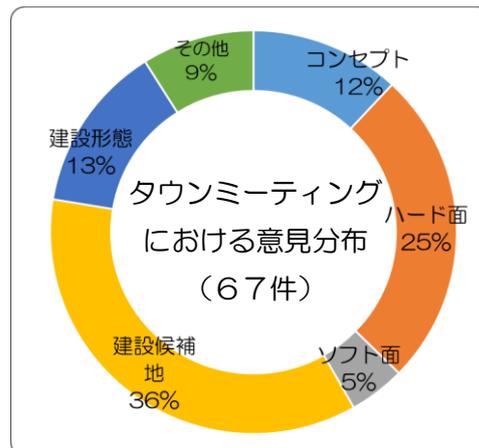
- 文化ホールと図書館を複合的に建設するのはスペース的に困難。
- 図書館と文化ホールは別々の建設してほしい。(第2回検討会にて概ね意見が一致)

※重複するご意見もあることから、記載しているご意見は意見数と一致しているわけではありません。

### 3 地域タウンミーティング及び未来ビジョン会議における意見

#### (1) 平成30年度地域タウンミーティングにおける意見

コンセプト	8件
ハード面	17件
ソフト面	3件
建設候補地	24件
建設形態	9件
その他	6件
<b>合計</b>	<b>67件</b>



※市内15地域にて多くの方から貴重なご意見を伺いました。

①コンセプトに関する意見(8件)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館は若者が自分から勉強するような施設となることを望む。</li> <li>○新図書館・文化ホールで市民文化の育成が進むことを望む。</li> <li>○学校の統廃合の問題と関連するが、賑わいの創出につながるような方法を考えてほしい。</li> <li>○ターゲットと施設の規模を先に決定したほうがよい。</li> <li>○建設後の活用方法をイメージし、それに合致した施設・設備となるよう建設してほしい。</li> <li>○図書館及び文化施設のコンテンツを検討したほうがよい。</li> <li>○大人を対象とした、伊東の古い歴史関係の資料を大切に作る図書館を希望する。</li> </ul>	
②ハード面に関する意見(17件)	
<p><b>【両施設共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バスなど大型車で施設付近まで入れるよう、近隣道路も含めた整備をお願いしたい。</li> <li>○建設費の問題について、PPP/PFIの検討をしてほしい。</li> <li>○新施設は、利用しやすい建物構造にしてほしい。</li> <li>○少子高齢化が進み財政が縮小していく中、建設に際しては初期投資とランニングコストについても比較検討し、市民へ説明をしてほしい。</li> </ul>	
<p><b>【図書館について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館は、駐車場のスペースを十分確保した広い敷地に建設してほしい。</li> <li>○100席程度のミニ映画館(シアター)を併設</li> <li>○障がい者や高齢者に配慮した施設を望む。</li> <li>○各地域に、中・小規模の図書館を作り、ネットワークで繋いだ上、書籍等のやり取りを巡回車で行う方法はどうか。</li> </ul>	<p><b>【文化ホールについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機材搬入等、利用しやすい構造を望む。</li> <li>○文化ホール設計に際しては、音楽関係者等も参画させてほしい。</li> <li>○収容人数は観光会館と同程度にしてほしい。</li> <li>○外観が、観光地伊東にふさわしい建物</li> <li>○中途半端なものとならないよう計画してほしい。</li> <li>○舞台・音響・楽屋等が充実したものとなるよう、利用者や専門家の意見を取り入れてほしい。</li> </ul>
③ソフト面に関する意見(3件)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館・文化ホールの運営主体はどうか。現状同様、図書館は市直営、文化ホール委託か。</li> <li>○文化ホールの運営は、民間委託も視野に入れているか。</li> <li>○新図書館については、蔵書や資料の充実についても重要視していただきたい。</li> </ul>	
④建設候補地に係る意見(24件)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館・文化ホール建設計画と駅前整備の計画との兼ね合いはどうか。</li> <li>○文化ホール建設に際し、どの程度の広さを考えているか。</li> <li>○図書館・文化ホールの併設となると、伊東駅前では狭隘である。建物及び駐車場として必要な土地を算出した上で、用地選定をお願いしたい。</li> <li>○橋を利用して行くような立地では災害時に困ることから、マンダリンホテル跡地は厳しいのでは。</li> <li>○建設候補地に藤の広場一帯が入っていないが、何故か。</li> <li>○図書館建設の候補地として、湯川分園の土地を利用できないか。李太郎記念館を含め文化の中心</li> </ul>	

	<p>地にできると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地の活性化が伊東市の最重要課題。文化ホール建設はそれに寄与すべき。伊東温泉情緒を残す松川沿いで事業展開が望ましく、文化ホールも藤の広場を活用すべき。</li> <li>○西小学校及び旭小学校を東小学校へ統合し、西小学校跡地に文化ホールを建設してはどうか。</li> <li>○図書館と文化ホールは別々の場所に建設してほしいと思う。図書館は旧マンダリンホテル跡地に、文化ホールは伊東駅前が適地だと考える。</li> <li>○市内県立高校3校が商業高校に統合された場合、伊東高校の跡地を建設地としたらどうか。</li> <li>○図書館・文化ホールは市街地にあったほうが良いと考えるので、西小学校なども魅力的な候補地の一つになるのではないかと。</li> <li>○伊東駅前が候補地となっているが、駅の北側には使えるような用地はないか。</li> <li>○提示された候補地は、図書館と文化ホールを併設する場合、敷地面積の面から難しいと思える。小中学校の統廃合及び高校の再編によって生じる敷地も活用可能ではないか。それら土地の利活用を含め柔軟に対応してほしい。</li> <li>○時間的な制約がある中、市民の利便性や経済性、市全体のまちづくりを考慮し、最適な場所を選定していただきたい。</li> <li>○小学校統廃合と関連し、西小学校の跡地を活用するののも一つの案だと思う。建設を急ぐ必要があれば、現在の図書館に近いマンダリン跡地が適地ではないかと思う。</li> <li>○新施設は伊豆高原に作ってほしい。災害時の避難場所としても、伊豆高原エリアに必要である。</li> <li>○南部地域には市の施設が少ないため、新施設は南部地域に作ってほしい。</li> <li>○どの地域に作られたとしても、選ばれなかった地域は残念である。特に図書館についてはコミセンなどを利用して分館を設けるなど、図書の貸借ができる環境を整えてほしい。現状のともだち号は滞在時間が短いことから、本館とネットワークで繋げるようにしてほしい。</li> <li>○高齢化が進む中、駅からの徒歩圏内であることが理想だと考えるので、伊豆高原駅周辺が適している。伊豆高原は素晴らしい環境で文化度が高く芸術家も多い地域であるが、発表する場がない。この地域を文化村のようなイメージで作ってはどうか。</li> <li>○建設候補地案はいずれの場所も決め難く、高校再編によりできる土地3箇所はいずれも広く適地となり得ると思う。</li> <li>○伊豆高原地区に重要施設を建設することで郊外から市を発展させて欲しいと思う。利用頻度の低い大規模施設を1箇所建設するのではなく、利用しやすい小規模施設を2つ建設し、市全体に文化を波及させ、市の発展にも繋がると考える。</li> <li>○伊豆高原駅周辺を一体的に活用し、観光客も利用しやすくなるような魅力的な施設としてほしい。</li> <li>○駅前よりも広い駐車場を確保できる場所への建設が良いが、施設の形態によっては駅前に建設することで観光客誘致や駅前整備につながることも期待できる。</li> </ul>
--	--

**⑤建設形態に係る意見(9件)**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館と文化ホールは立地条件や利用目的が異なるので、併設ではどちらも不十分になる。</li> <li>○財政面で図書館と文化ホールの同時建設が難しいのであれば、1つずつ完成度の高い施設を作ってほしい。</li> <li>○指定管理者導入により問題が発生している自治体もあるよう。民間資本導入の計画があるなら、民間参入の意義を市民が理解できるよう丁寧に説明してほしい。</li> <li>○可能であれば、図書館・文化ホールを別々に建設することに越したことはないが、伊東市の規模で難しいのであれば併設でも賛成する。</li> <li>○図書館は現在の場所より、もう少し広い場所へ、単体での建設を希望する。</li> <li>○施設の特性や目的から図書館と文化ホールは別々に建設した方がよい。</li> <li>○文化ホールの規模(800席程度)については賛成である。文化ホールは街の象徴となり、訪れる人が行き帰りも楽しめるように商店街と連携できるような場所や、伊東市の顔である駅前に建設するのが良いのでは。</li> <li>○図書館は図書の貸出だけでなく新聞や郷土資料の保管等様々な機能を保有する重要な施設と考えため、文化ホールとは別に考えた方がよい。</li> </ul>
--	--

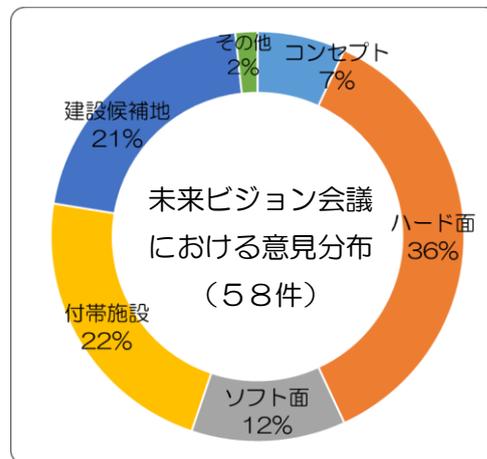
**⑥その他(6件)**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅前整備や図書館・文化ホール建設については市民の関心が高いため、随時情報を出してほしい。</li> <li>○図書館協議会を設置し、市民の声を反映させる場を設けるべきではないか。どのような図書館、文化ホールを願っているのか「市民の声」をまず形にし、候補地を決定することが市民が希望する施設建設につながる。</li> <li>○人口減少が進む中、新たな建物の建設は、市民の負担増になるのではないかと。</li> <li>○マンダリンホテル跡地等に、生涯学習センターを建設することは可能か。</li> <li>○新施設建設後、生涯学習センター中央会館や観光会館の利活用について。</li> </ul>
--	--

※重複するご意見もあることから、記載しているご意見は意見数と一致しているわけではありません。

## (2) 未来ビジョン会議における意見

コンセプト	4件
ハード面	21件
ソフト面	7件
付帯施設	13件
建設候補地	12件
その他	1件
<b>合計</b>	<b>58件</b>



※委員18人が3グループに分かれて各種提案をしていただきました。

①コンセプトに関する意見(4件)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊豆半島各地から人が集まる大型複合施設・伊東市民の豊かな暮らしの実現</li> <li>○図書館＝市民の教養・健康増進、文化ホール＝市内経済の活性化</li> <li>○図書館は「静＝オシャレ」、文化ホールは「動(賑やか)＝ナチュラル」であり正反対の施設 ⇒単体施設であるべき</li> <li>○伊東らしい特徴の機能や整備を入れる(温泉、自然環境を生かす)</li> </ul>
②ハード面に関する意見(21件)	
<b>【図書館について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広い学習室(学生が勉強できる)</li> <li>○談話スペース</li> <li>○カルチャ・コンビニエンス・クラブ</li> <li>○カルチャースクール(+託児施設)</li> <li>○電子図書館(ネット環境)</li> <li>○子ども食堂(図書館)</li> </ul>	<b>【文化ホールについて】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音響が良い施設(映画、演劇、コンサート等)</li> <li>○座席稼働式(スポーツ等にも活用可能)</li> <li>○大ホール(1500人～2000人)と小ホール(300人～500人)の併設</li> <li>○楽屋、リハーサル室、フリースペース</li> <li>○コンベンションホール</li> </ul>
③ソフト面に関する意見(7件)	
<b>【図書館について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他市町の人でも簡単に利用できる機能</li> <li>○観光客もインターネットで予約し、ホテルでの貸し借りが可能</li> <li>○クロモジ(読書ルームでアロマを焚く)</li> </ul>	<b>【文化ホールについて】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントと連動した、宿泊プラン</li> <li>○映画館、演劇、コンサート、パブリックビューイングの開催</li> </ul>
④付帯施設に係る意見(13件)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カフェテリア(飲食をしながら学習ができる)</li> <li>○ジム、温泉プール</li> <li>○子どもが遊べる場所</li> <li>○漁協直営のレストラン</li> <li>○ボルダリングスペース</li> <li>○大きい公園</li> <li>○足湯(足湯などの癒しの場)</li> <li>○クロモジ(伊豆高原名産の木:遊歩道へ植樹)</li> <li>○シェアオフィス</li> </ul>
⑤建設候補地に係る意見(12件)	
	<b>【1グループ⇒アピタ交差点南側に複合施設】</b> (選定理由)○土地も広く制約が少ない ○自由度が高い ○市内全域からの利便性が良い (懸念事項)○交通渋滞の恐れ ⇒ 駐車場への入り口を複数作ること分散 ○最寄り駅や市街地から遠い ⇒ シャトルバスの活用 <b>【2グループ⇒マンダリンホテル跡地に図書館、伊豆高原駅周辺(文化ホール)】</b> (選定理由)○市街地で利用しやすい ○現在の図書館に近い ○周辺施設(健康福祉センター・ひぐらし会館等)との一体的な活用が可能 ○伊豆高原エリアに文化芸術のイメージが醸成できる ○伊豆高原駅には駐車場が多く、交通の利便性が高い。 (懸念事項)○津波浸水区域 ⇒ 1階を駐車場にすることで解決。 ○交通渋滞の恐れ有 ⇒ 公共交通機関の利用を呼び掛ける
⑥その他(1件)	
	○ネーミングライツの活用

※重複するご意見もあることから、記載しているご意見は意見数と一致していません。

## 4 図書館建設候補地の選定について

本検討会においては、平成30年3月に策定した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』を基に、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議においていただいた意見を参考にしつつ、協議を行ってまいりました。委員11人からは、本市図書館・文化ホール建設に向けた多くの意見が出され、以下のとおり、図書館の建設形態及び建設候補地について選定をしました。

### 【平成31年3月25日 市長への報告事項】

- ①「建設形態」については、「図書館」と「文化ホール」を別の場所に建設する。
- ②「建設候補地」については、市内小・中学校の適正配置及び県立高校の統廃合の方向性を見つ、平成31年度も継続して検討する。
- ③検討にあたり、「図書館」の建設候補地案から検討を行い、その後、「文化ホール」の建設候補地案について検討を進める。



### 【令和元年10月1日開催 第7回 図書館・文化ホール建設に向けた検討会において決定】

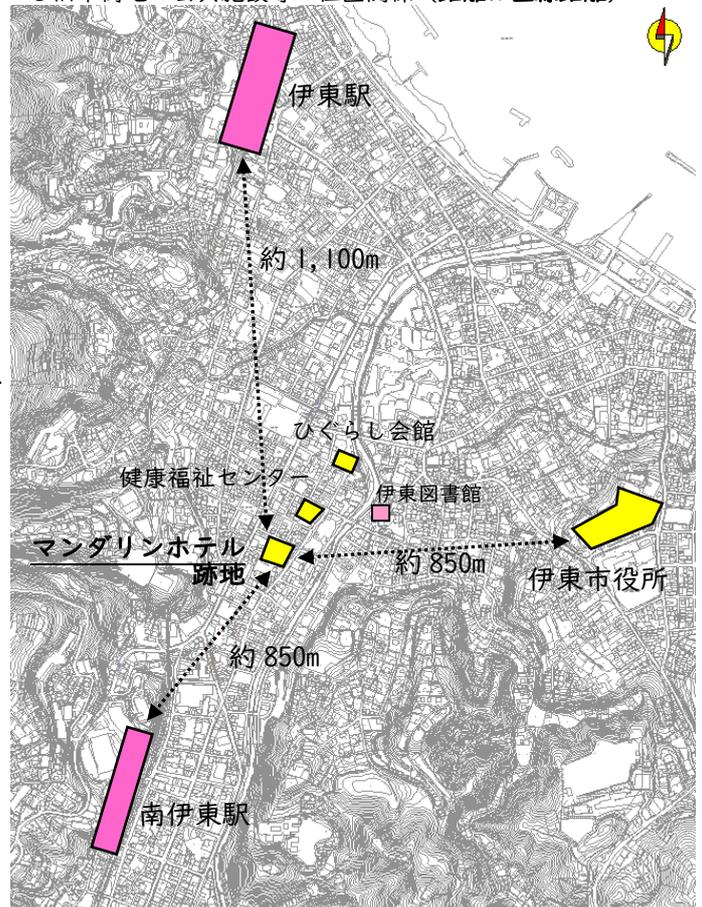
## 新図書館の建設地を『マンダリンホテル跡地』に選定

### 【理由】

同候補地が①市街地で利用しやすい、②周辺施設（健康福祉センター・ひぐらし会館等）との一体的な活用が可能である、③当該敷地が全て市有地である、④造成等の整備がほぼ不要である、⑤当該土地に図書館を建設したと仮定すれば、伊東駅から商店街を通じた人の流れが生まれ、市街地のにぎわい創出につながる大きな可能性を秘めた土地である、などが大きな理由である。

あわせて、平成29年度に実施した庁内ワーキンググループにおける協議や、日本図書館協会が発出している公立図書館の設置及び運営上望ましい基準を総合的に勘案し、本市新図書館の構想案として目標とすべき、延床面積 2,500 m<sup>2</sup>以上、開架図書数 200,000 冊などの将来展望開ける図書館として十分な機能を確保できると判断したことも、大きな要因と言える。

○旧市街地の公共施設等の位置関係（距離は直線距離）



また、マンダリンホテル跡地については、①最寄り駅から若干離れていること（伊東駅から 1.5 km、南伊東駅から 1 km）や②複数の災害発生危険区域にあることなどのデメリットはあるものの、伊東駅及び南伊東駅の間地点に位置し、誰もが訪れやすい立地条件と、閑静な住宅街に位置することからも、市民の憩いの場として、新たな交流の創出にもつながることも期待し、総合的に判断したところである。

さらに、伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針によれば、2023 年（令和 5 年）4 月を目途に、東小学校、西小学校、旭小学校の 3 校が 1 校に統合され、統合先の校舎については、立地条件や校舎構造、教室数等を踏まえ、東小学校を第一候補としていることから、西小学校の跡地や県立高校の統廃合に伴い生じる敷地等についても新図書館の建設候補地の一つになり得る状況であるが、新図書館建設のスケジュールを時間軸として考えたとき、現段階では候補地の俎上に載せることは現実的ではないと判断したところである。

このほか、本市南部地域からのご意見が多かった、伊豆高原駅周辺への建設については、駅周辺の民有地の山林等を買収して敷地を確保する必要があること等の理由から新図書館建設に係る経費等を考慮した場合、現財政下においては難しいと思料し、マンダリンホテル跡地に建設する新図書館（本館）を本市における市街地の活性化の軸となる拠点施設として位置づけ、伊豆高原駅周辺の南部地域へもサテライト型図書館の新設を今後検討するなど、多くの方からいただいたご意見を可能な限り反映できるよう、今後策定していく基本構想や基本計画に委ねることとした。

なお、新文化ホールの建設地決定については、今後も鋭意検討を進めてまいりたい。

参考資料

(建設候補場所及び概要①)

	1	2	4	5
名称	①伊東駅前	②マンダリンホテル跡地	④アピタ交差点南側	⑤伊豆高原駅周辺
面積	5,964㎡	3,874㎡	15,546㎡	17,987㎡
位置	・湯川地区 ・伊東駅に隣接	・岡地区 ・南伊東駅から約1km	・玖須美地区 ・川奈駅から約2km	・八幡野地区 ・伊豆高原駅に隣接
敷地状況	・伊東駅周辺 ・駅前広場、道路 一体的に再開発をして敷地を確保	・中央会館、伊東図書館等の市仮設駐車場	・アピタ交差点南側の市有地の山林で大規模造成が必要	・伊豆高原駅周辺 ・民有地の山林等を買収して敷地を確保
用途地域 (建ぺい率 / 容積率)	・商業地域(80/400) ・近隣商業地域(80/300)	・近隣商業地域 (80/300)	・指定なし(60/200)	・指定なし(60/200)
災害発生危険区域	・津波浸水想定地域(1~3m) ・土砂災害警戒区域 ・噴火の発生及び影響の範囲	・津波浸水想定地域(0.3~2m) ・洪水浸水想定地域(0.5m未満) ・噴火の影響の範囲	・噴火の影響の範囲	-
都市的位置づけ	・健康保養都市にふさわしい「市街地の中の観光」を活性化する都市機能を導入する。	-	-	・自然環境を活かした文化ゾーンを形成する。

(建設候補場所及び概要②)

No.	1	2	4	5	
名称	伊東駅前	マンガリンホテル跡地	アピタ交差点南側	伊豆高原駅周辺	
建設候補地の比較	利便性	○	△	△	△
		伊東駅に隣接し、市民、観光客等※の利用が容易である。 車の渋滞が生じる。	市街地にある。 最寄り駅から離れている。	市域の中心にある。 最寄り駅から離れている。 車の渋滞が生じる。	伊豆高原駅に隣接し、観光客等※の利用が容易である。 市域の中心から離れている。
	防災性	△	△	△	○
		津波避難施設が確保される。 鉄道運転見合わせ時の一時避難施設になる。 複数の災害発生危険区域にある。	津波避難施設が確保される。 複数の災害発生危険区域にある。	避難スペース等が確保される。 噴火の影響の範囲にある。	避難スペース等が確保される。 災害発生危険区域は無い。 鉄道運転見合わせ時の一時避難施設になる。 -
	機能性	△	△	○	○
		市民、観光客等※のテナントやイベント利用の期待が最も大きい。 平面駐車場が不足する。	平面駐車場(50~100台程度)が確保できる。 文化ホールの整備が不可能である。	広い平面駐車場(200台程度)が確保できる。 近隣の施設と競合する、交流・にぎわい施設の検討が必要である。	広い平面駐車場(200台程度)が確保できる。 (既存の駐車場も利用することが可能) 多目的広場の整備が可能で、多様なイベントや活動ができる施設となる。 近隣の施設と競合する、交流・にぎわい施設の検討が必要である。
	発展性	○	△	△	○
		伊東市の顔にふさわしい、中心市街地の再整備の核施設として期待できる。 健康保養都市の街なか観光を活性化する施設として期待できる。 -	地域の教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 観光客等※の利用がしにくい。	地域の文化活動、教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 小中学校が近隣にある住宅地で、生活環境への影響が懸念される。	地域の文化活動、教育活動、生涯学習活動に関する施設が充実する。 周辺に美術館・博物館もあり文化地域として発展する可能性がある。 -
	経済性	△	△	×	×
		一部市有地 再開発により敷地(市有地・民有地)と道路等公共施設を整備する必要がある。 立体駐車場等を整備する必要がある。	市有地 ほとんど造成等整備は不要である。 別途、文化ホールを整備する必要がある。	市有地 大規模造成等敷地整備が必要である。 周辺道路を整備する必要がある。	- 造成等敷地整備が必要である。 用地買収が必要である。

○:良い、△:普通、×:悪い

※観光客等は、観光客及び市外利用者のことをいう。